の丘裏庭版

主任司祭から瀬田の兄弟姉妹へ

主任司祭 小西広志 神父



創刊 2022 年

振りかけて、 大祭司が至

民の罪をあがなって

ました。

そして十五日からは

十日は

あがない **聖**所

で

いけにえの血 の日」として

編集協力・発行/カトリック瀬田教会信徒会広報部 東京都世田谷区瀬田 4-16-1



ッ

ク歳時

記

七の月 見されたという言い伝えに端を発 リストの十字架を思い起こすお祝 サレムの聖墳墓 れ 祝 日が救いと希望のしるしであるキ が奉献され、 た場所) します。 てエルサレムで本物の十字架が発 ティヌス皇帝の母ヘレナによっ 日 い日が続きます。 は西暦三二六年にコンスタン 九月には、 「十字架称賛の祝日」です。 その翌日、 (現在の九月 そして、 すでに旧約の時代には第 -字架の称賛の祝日となり に聖堂が献堂されまし その時から九月十四 十字架に関連したお 発見された十字架 (イエスが葬られ 三三五年にエル まず、 から十月) 卢日 0) 架 0)

٨_٥ こうい にあるお祝 0) わざを記念していました。 つ 日なのかもしれませ 旧 約の習慣が背景 出めの

仮庵の祭りとしてエジプト脱れかりお

受けて、 です。 受けた五つの傷と同じものをフラ 福され、 ランシスコのキリスト を一心に見つめ続け、 ストが十字架に付けられたときに ンシスコは、 ンシスコは自らの身体に受けたの 一二二四年、 つになりたいと願い続けました。 0) また、 聖痕の記念日」です。 キリストからメッセージを 傷というしるしで神から祝 これを聖痕といいます。 現れたのです。 回心の生活を始めたフラ 七日は聖フランシスコ ラヴェルナ山でキリ 生涯を通じて十字架 十字架と一 への切なる フ

> 受難と一つになることを心から願い。 教者たちも、 殉 たちも祝います。 たちが主イエス・キリストと同 十五殉教者 ように死んでいったのです。 いました。 者 (十日)、 そして、 (三十八日) キリストの十字架の 日本二百五福者 聖トマス西と 多くの殉教者 です。 殉

です。 す。 があがなわれ、 十字架に結ばれてキリスト者は歩 恵だと言 んでいくのです。 教会には必ず十字架があ 人類は主の十字架を通じて罪 パウロは、 います。 救われていっ 十字架によっ 十字架は神の たの りま 知ち

の姿は、 と、尊い十字架から目をそらして とができるでしょうか。 げられている十字架を仰ぎ見るこ らしてしまいがちです。 しまいがちです。 ようか。 L かし、 あまりに無惨で、 聖堂の祭壇の上にかか 十字架を直視できるで 苦しむキリスト ともする 目をそ

さらに、 九月には日本の殉教者

実は、 古代のキリスト教徒 に

だったようです。パウロがあれほだったようです。パウロがあれほだったようです。パウロがあれほだったったいるにもかかわらず、罪人のように十字架にかけられた主を持むのはためらいがあったようです。キリスト教の美術の中で十字架、しかもイエスが架けられた十字架が描かれるようになったのはでかけながら、十字架のすばらしてかけながら、十字架のすばらしてをかけながら、十字架のすばらしてをかけながら、十字架のすばらしてをかけながら、十字架のすばらしてをかけながら、十字架のすばらしてな体験的に獲得していったのでした。

お手元に十字架はありますか?
ないたいさな十字中がリオの先についた小さな十字にのせて、十字架のイエスさまをにのせて、十字架のイエスさまをにのせて、十字架のイエスさまをしまう。十字架から語りかけを受け人は十字架から語りかけを受けんは十字架から語りかけを受けただくのですから。



新しいミサの式次第につい

ミサの中での唱え方について

今回の式文の改訂によって『ミサ典礼書』が新しくなりました。これまでの日本語の『ミサ典礼書』では式文の唱え方について、詳細では式文の唱え方について、詳細の新しい『ミサ典礼書』ではラテの新しい『ミサ典礼書』ではラテン語規範版に従って、以下のような唱え方の区別が典礼注記に記されます。

1. 唱える

造の祝福などがあります。
っテン語で dicere といいます。
ったと、一方です。
これは声に出しての唱え方です。
これは声に出しての唱え方です。
のます。例えば、開祭の際の十字
えます。例えば、開祭の際の十字
なます。例えば、開祭の際の十字
がいば、
のがり、栄光の賛歌、公式祈願、信仰
り、栄光の賛歌、公式祈願、信仰

2. はっきりと唱える

唱えるとは異なって、もっと

味あいが強いです。 る場合 感謝の賛歌、 声で唱える)、 clara voce dicere(直訳は明確な は共に三位一体の神を賛美する意 の結びの「アーメン」などです。 る)となっています。公式祈願の きのことです。ラテン語を見ると 感謝の賛歌、 はっきりと唱える時、 アーメン」、聖書朗読の後の言葉 これは司式者と会衆が共に唱え など) (例えば、 秘跡制定句、 祈願の最後、 acclamare は、 朗読後の言葉 司式者と会衆 宣言すると (宣言す 奉献文 奉献文

3. 歌う

歌うこと(cantare)は三倍祈ることだと言ったのは聖アウグスることだと言ったのは聖アウグスの中では司式者が唱え、会衆がそれに答える場合、あるいは司式者と会衆が同時に唱える場合などがと会衆が同時に唱える場合などがと言った。答唱詩編、アレルヤ唱あります。答唱詩編、アレルヤ唱あります。答唱詩編、アレルヤ唱がの場合が、

に歌います。

7

4. 小声で唱える

dicere と言います。これは司式司 祭がミサの中で小さな声で唱えな ければならない箇所のことを指し ます。複数の司祭による共同司式 の時は主司式司祭の声を響かせる ように、その他の司祭は小さな声

5. 静かに唱える

がこころの中で唱える場面です。(多くの場合は司教、司祭、助祭)るでしょう。特に、ミサのをようしよると「名をいるとします。」(secreto dicre)とない。

以上となりますが、もっとも、唱える中で最も大切なのは「唱えないで唱える」ことです。「聖なないで唱える」ことです。「聖なる沈黙は、祭儀の一部として、守るべきときに守る」とミサ典礼書の総則に記されています。「沈黙」は唱えること、歌うことと同じほは唱えること、歌うことと同じほどに大切なミサへの参加の仕方でどに大切なミサへの参加の仕方で

東礼の行為なのです。 東礼の行為なのです。

典礼での「沈黙」についてサレい研究を半世紀前に発表なさっしい研究を半世紀前に発表なさっています。それを受けて、わたしたち瀬田教会のかつての主任神父たち瀬田教会のかつての主任神父さまだった南雲師もミサの中でさまだった南雲師もミサの中でさまだった南雲師もミサの中でたよい伝統が「沈黙」なのだと思っております。

変更後

ところを指摘しましょう。ところを指摘しましょう。ところを指摘して、説がでの会衆の皆さんに関連するにわたって「感謝の祭儀」の変更にわたって「感謝の祭儀」の変更にわたって「感謝の祭儀」の変更にわたって「感謝の祭儀」での変更箇所を指摘して、説

パンとぶどう酒を供える祈り

解説

変更前

うに祈りましょう。全能の神が受け入れてくださるよ

を小声で唱える)会:(沈黙、あるいは次の祈り

省略

しょう
のいけにえを、全能の父である神のいけにえを、全能の父である神のいけにえを、全能の父である神

神の栄光と賛美のため、またわたしたちと全教会のため、あなたの手を通しておささげするいけにえを、

会:(立ち上がって)

た。 での沈黙の重視を意識してのこと 酒の奉納物が祭壇にささげられの典礼に移る際にパンとぶどう ミサをしているような印象を与え という式文が、まるで司祭だけが でしたし、「司祭の手を通して」 た。これは、先に述べた典礼の中 りを唱えてもよいとなっていまし ます。そして、その一つひとつを かねないので唱えるのを避けまし した。もちろん沈黙の代わりに祈 す。これがこれまでのミサ式文で 会衆は沈黙のうちに同意を表しま の祈りを神さまに祈ります。最後 とりあげて、司祭は献げ物として みことばの典礼が終わり、 司祭は招きの言葉を唱えて、 感謝

ます。
しかし、今回の改正ではこの祈りを唱えるようにとなっていま
す。「司祭の手を通して」の部分
は「あなたの手を通して」となり

化した際に、それまでの司祭中心でラテン語から日本語に式文が変なったが、

うに。

であったミサの唱え方を、会衆と であったミサの唱え方を、そのために、 る意識がありました。そのために、 この奉納祈願の前の招きの言葉へ の会衆の応答句は、なんとなく唱 えないようになりました。「司祭えないようになりました。「司祭 たないようになりました。「司祭 もしれません。

しかし、司式者は共同体の皆さんと共に、そして復活なさってんと共に、そして復活なさってキリストと共にミサをささげるわけですから、この招きの言葉に対する応答は全会衆が声をだしてするように求められていると思います。

であることに不満を覚えていましの会衆の応答句を唱えずに、沈黙の会衆の応答句を唱えずに、沈黙いたし(小西)は、以前からこ



変更前

司:主は皆さんとともに。

奉献文

感謝の賛歌の前

司

賛美と感謝をささげましょ

会:神をあおぎ、

司

こいをこめて

う。

た。といいますのも、この応答句 がプライベートなものになりかわ とを意識させるので必要だと考え はすべての教会と共にささげるこ るからです。そうしないと、ミサ

のため、

またわたしたちと全教会

ません。今回、

「神の栄光と賛美

はよいことだと思います。

のため」と唱えるようになったの

です。 会:それはとうとい大切な務め

絵

画に寄せ

7

解説

葉は、 これからおこなわれる感謝の典礼 規範版にある「それはとうとい大 共にささげるという視点を大切に うなやりとりとなります。これも、 まり、ミサは、 ていることを会衆が認めます。つ が重要で、 切な務めです」を加えることで、 るのではないのです。 したからです。そして、ラテン語 「感謝の賛歌」の前の招きの言 司式者と会衆の対話句のよ 神さまのみ旨にかなっ 司祭だけがしてい

す。 げて」という意味です。 こめて神をあおぎ」となっていま 日本的な典礼の適応として「心を ルダ)と言います。「心を上にあ は sursum corda (スルスム・コ ちなみにこの場面はラテン語で これは名訳だと思います。 しかし、

う。

会:賛美と感謝をささげましょ 司:心をこめて神をあおぎ、 会:また司祭とともに。

変更後

会:またあなたとともに。

司:主は皆さんとともに。

聖痕を受ける聖フランシスコ

たもいらっしゃるでしょう。 聖堂にあります。ご覧になったか 作品はアシジの聖フランシスコ大 ンブロージオと共にロレンツェッ 中心に活躍した画家です。弟のア 半にシエナやフィレンツェなどを ティ兄弟と呼ばれています。彼の (Pietro Lorenzetti) 十四世紀の前 ピエトロ・ ロレンツェッティ

聖堂の入口が描かれています。こ あったフランシスコ会の修道院の そして右側にはラ・ベルナ山に ラ・ベルナ山が描かれています。 堂にある作品です。 スコ』もまた聖フランシスコ大聖 はフランシスコが聖痕を受けた こ の 『聖痕を受ける聖フランシ 画面の左側に

> 聖フランシスコが隠遁した家で なのでしょう。 のようなものが縦にあります。 しょう。 れが、フランシスコが祈った洞窟 画面の中央には深い暗 闇が

聖堂の入口があります。 うなものを持って座っていること ていることに気づかされます。 上部のセラフィム(熾天使)に模 ら細い線が出ており、画面右寄り ラ・ベルナ山を背景にひざまずく 線がこの画面の中央の縦の裂け に気づかされます。 シスコ会の兄弟がなにやら本のよ した十字架のキリストとつながっ フランシスコを見ます。彼の手か して視線を下に向けると、フラン へと向かいます。そして、 この絵を見るものには、 その右隣には まず視し 左側に

そこでは止まらなくて、最終的に とき、 動いていきます。 右上へ、さらには中央寄りの右側 このように、この絵を目にした 最後に画面の右端へと視線が 画面中央から左へ、そして 視線の動きは

いますが、ここでは省きます。 、歌」も変更になって い小さな家があります。恐らく、 度、

の聖堂は、

今も存在します。もう

画面の左側に目をやると赤

この賛

ミサの時間: 月曜日-土曜日 6:20am (「朝の祈り」に続いて) 日曜日 7:00am、8:30am、9:30am

しているのです。

配置されているのです。 ラフィム、そして兄弟と三つが す教会との間にフランシスコ、セ |面左上に山があることに気づき 自然を表す山と、この世を表 中央の裂け目を真ん中にし

弟は身をかがめて聖堂の前で準備 中腹にある小さな家から、 分かるでしょう。 洞窟で祈るために降っていったこ るいは祈り、 祈りの本だと考えるかも知れませ を使ってこの本は聖書、 ています。 こでは、 てしまったお話です。 まが祈っているのに弟子たちが寝 鑑賞者もいるでしょう。 ゲッセマニの園の場面を思い出す セラフィムから聖痕を受けたので とに気づくでしょう。その途中で、 ぐに場面がラ・ベルナ山であると こているのでしょうか。 神さまを賛美するために、 ではいったい右の兄弟は何を この兄弟は何か本を開い そこで鑑賞者は想像力 歌うために、この兄 そして、 しかし、こ あるいは イエスさ 聖書の あ

> 上昇が見られます(もっとも、 して、 ろを上にあげて神を賛美できる兄 途中での聖痕の出来事。 と降りていくフランシスコ、その 面

自分自身に出会うために洞窟へ 罪の洞窟を出て聖堂でここ の中央を挟んで下降と それに対

> が。 兄弟は自分のことで精一杯です

上の方に十字架につけられたキリ くれます。 ころを神さまの方へと向けさせて ストがいて、 Vの字に描かれた構図のさらに わたしたちの目とこ

111

ピエトロ・ロレンツェッティ (1280 - 1348)フレスコ画

線とが交わります。ここにキリス させます。 ろに何か救いのようなものを感じ もセラフィムの翼の下にあるとこ を、 来なら賛美と感謝を通じて、 の右側で腰かけている兄弟は、 とが一致します。こうして聖なる ムに模した十字架のキリストの視 ストの思いと一つなるべきところ なろうとしたフランシスコの想い トの受難を黙想し、 つにはなっていません。それで フランシスコの視線とセラフィ (聖痕)を受けたのです。 夢中になって本を読んでいて それと一つに 画面

.があることに気づいた人はす

うか。 もしれません。 活を意味したフェニックス トリかもしれませんし、 います。 は 画 なのかもしれませんし、 面左の一番上に鳥が描かれて 死体に群がるカラスなのか トロの裏切りの時のニワ これは何を表すのでしょ 当時、 (不) 死し 復る

葛西教会のベトナムの兄弟姉妹たちのために

コロナ禍で教会が閉まっていた

いたシスターに語りかけました。そして、意を決した様子でそこにた。彼は聖堂で祈っていました。た。彼は聖堂で祈っていました。

「お腹が空いてます」。それを聞いたシスターは修道院へ飛んで帰たシスターは修道院へ飛んで帰た。それが、て青年に差し上げました。それが、て青年に差し上げました。それが、つ関わりの始まりです。

剤を用意してあげました。 して彼らのために食事やお米や洗した。教会の人々はみんなで協力 した。教会の人々はみんなで協力 した。教会の人々はみんなで協力

コロナで仕事がなくて、おカネ

しかし、「好きなだけ持って帰りなさい」と呼びかけても、ベトナムの青年たちはおずおずとして大のでは教会でモノをもらうというムでは教会でモノをもらうというと呼びがないのです。日本人の信徒の方々はとにかく無理やりモノをの方々はとにかく無理やりです。 ではあいのです。 日本人の信徒の方々はとにかく無理やりでして、できな来なさい」と声をかけまして、「また来なさい」と声をかけまして、





キ塗り、 が楽しみ。でも彼らの習慣でゆる 領をしません。 しの秘跡を受けないと、ご聖体拝 んな一生懸命働いています。ミサ らいです。配管工、 元気です。 ベトナムの青年たちは明るく、 コンビニの弁当工場、 でも、 仕事はとてもつ 鉄筋工、ペン 4

> す。 青年たちのために援助していま 1) ったベトナムの技能 葛西教会では月に一回、 また、ボランティアで法律相 実習生の こう

> > 談をしてくれる信徒の専門家もい

す。 きはお互いさま」という一節が心 たちも訪ねてきます。「困ったと 礼を受けていない青年たちも来ま ちが集まるようになりました。洗 ます。今では八十人近くの青年た また、アジアの他の国の青年

に浮かんできます。



ツ、 信心用具も喜ばれました。 濯洗剤などを持っていきました。 物価高騰の折、 七月はカップラーメン、Tシャ お米、お菓子などの食品と洗 食用油やお米、

す。 型の電気釜といった家電や、 洗濯機、 喜ばれます。また、 車のリクエストもありました。 缶詰やお菓子など、 して冷蔵庫、 皆さんのご協力をお願い 電子レンジ、 ヘアードライヤー 食料品は大変 生活必需品 扇風機、 しま 転



主任司祭からのお知らせ

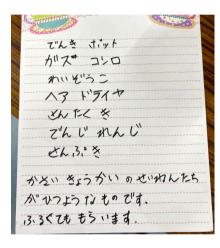
ミサの中ではマスクの着用、手指消毒などお願いします。

アントニオ会館リフォーム工事

今月より、アントニオ会館のリフォーム工事が始まっています。クリスマス前には終わると思います。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

ベトナムの兄弟姉妹たちのために

毎月、葛西教会に物資を持って行っています。皆さんのご協力をお願いします。



- ●食用油とお米は助かるとのこと。
- ●ちょっとした電気製品も助かるそうです。 冷蔵庫、ヘアードライヤー、洗濯機、電子レンジ、 扇風機など。中でも、小さいサイズの電気釜が一番欲し いそうです。
- ●使ってない自転車があったら助かるそうです。防犯登録証を付け替えてもらいますので、安心です。

典礼の暦

9月4日 年間第二十三主日

11日 年間第二十四主日

18日 年間第二十五主日

25 日 年間第二十六主日

10月2日 年間第二十七主日

3日 師父フランシスコのトランジトゥス(帰天祭)

9日 年間第二十八主日

16日 年間第二十九主日

23 日 年間第三十主日

30日 年間第三十一主日

